



























## その他の操作

### ダイレクトドアロックのボタン操作



II & III を同時に押すことでシステムをセットせずにドアのロック/アンロックのみをコントロールすることができます。

## 警戒中のシステム動作

### ドア検知

ドアが開けられると30秒間またはリモコンで停止されるまで異常発報します。ドア開けによる発報はドアを解放したままの状態でも最大5回までです。その後は一旦ドアを閉め、再度ドアを開けるまで発報しません。

### インテリジェントIGプロテクト

インテリジェントIGプロテクト(IIP)機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア開けにより異常発報すると、その後再度セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

### 動作確認LED

警戒中は通常1秒に1回のゆっくりした点滅を行います。異常発報すると点滅速度が早くなり、一度解除され再度セットされるかイグニッションがONされるまで続きます。一旦発報が止まっても異常があったことを知らせてくれます。

### GWA(動作中出力)

セット中にアースが連続して出力されます。ルミネーター等のオプション(別売)をコントロールする場合に使用します。

### センサー検知

#### シングルステージ:(弱衝撃)

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーが警告動作を行うとチャープ音が5回鳴り(サイレントモードでは鳴りません)、ハザードが5回点滅します。

※センサーバイパスモードでは反応しません。

#### デュアルステージ:(強衝撃)

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーが警報動作を行うと、30秒間またはリモコンで停止するまで異常発報します(サイレントモードでは鳴りません)。

※センサーバイパスモードでは反応しません。

## 警戒中のシステム動作（続き）

### セキュリティ警戒中のエンジン始動検知

PROGRAMMABLE   
機能設定で選択(P13)

機能選択表のインテリジェントIGプロテクト(IIP)のモード選択(13頁モード選択表参照)により下記2種類の動作を行います。

#### 1. プロテクトモード(エンジンスタータ非対応)：

イグニッションがONにされると30秒間またはリモコンで解除されるまで異常発報します。

イグニッションをONにしたままにすると本警報は最大で10回鳴り、11回目からは発報しません。



#### 2. エンジンスターター/ターボタイマー対応モード：

イグニッションがONにされるとショックセンサーはイグニッションOFFまで無視されます。ただし、このモードが選択中であってもドアは引き続き監視中ですので、ドアが開けられた場合には異常発報が行われます。



### ハイセキュリティサイレンストップ



車両で異常が発生し異常発報またはパニックサイレンモードによる発報をしている場合、リモコンのボタンを1回押すと異常発報が停止し、警戒は継続します。解除したい場合には異常発報していない状態で **I**、**II**、**III**、のいずれかのボタンをもう一度押す必要があります。

## その他の機能

---

---

### ハザードの点滅

セット時→1回点滅、発報中→30秒間点滅、解除時3回点滅、警告時→5回点滅、エラーチャープ時→2回点滅。

### セクターバイパス(SBS)機能

同じセクターにより10回異常発報した場合、そのセクターは周囲への迷惑を防止するため11回目以降はバイパスされ反応しなくなります。バイパスを解除するには一度システムを解除し、再度セットする必要があります。(※ドアは除く)

※セクターとはドア、イグニッション、センサー(警告、警報)等の監視箇所のことです。

### (トリガー)メモリー機能

解除時に通常3回の解除音が4回に変化し、通常警戒中は0.5秒に1回のゆっくりした点滅を行うLEDが、異常発報と同時に点滅速度が早くなります。LEDの早い点滅は、システムが再セットされるか解除中にイグニッションがONされるまで続きます。このような場合は車両に異常がないか確認してください。

### パニックサイレンモード

リモコンの **I** ボタンまたは **III** ボタンを3秒以上長押しすることにより意図的に発報させることができます。このパニックサイレン機能による発報は30秒間続きます。発報中は、ハザードフラッシュとLEDの急点滅も行われます。

※ ボタン **II** による操作の場合は発報せず、ハザード点滅のみとなります。

### バックアップサイレン (1355Bのみ)

専用キーでONにすることで常時機能します。バッテリー端子の切断やサイレンの電源線を切断されると発報します。

※車両のバッテリーを交換する場合は事前に専用キーでOFFにしてください。OFFにしないとサイレンが鳴りっぱなしになり故障の原因となります。

※専用キーは再発行できませんので大切に保管してください。

## 各種機能の設定



本製品は、お客様のご利用環境に、より適応させるための便利な機能を準備しています。モード選択の方法は以下の手順にしたがい、下記表にある回数イグニッションキーをON/OFFさせます。

1. リモコンを使って一度システムをセットした後すぐに解除します。
2. 解除後20秒以内にイグニッション・キーをACCポジションからONポジションへ必要回数動かし、再びACCポジションへ戻します。(20秒以内に必要回数動かしてください。)
3. 上記操作終了後ただちにリモコンの **1** ボタンを押します。
4. ハザードランプがイグニッションキーをON/OFFした数と同じ回数だけ点滅し、モードが変更された事を表示します。
5. モード変更完了です。別の項目を変更する場合は手順1.～4.を繰り返します。



### ヒント

※モードは上記手順1.～4.を繰り返すたびに入れかわります。

### モード選択表:

ON/OFF 回数	選択機能	選択内容	工場 出荷時
3	インテリジェントIGプロテクト(エンスタ対応)	ブ ロテクト/イソク	ブ ロテクト
4	リモートスタート中確認動作	ON/OFF	OFF
8	オートアーム	ON/OFF	OFF
10	オートリアーム	ON/OFF	OFF
17	イクステリアイルミネーション	ON/OFF	OFF
20	リモコン登録/リセットコード変更(26、27頁参照)	初期値 "6"	



### ヒント

※プッシュスタートシステム搭載車両では上記操作は困難ですので、別売オプション機能設定スイッチ: **PBS-90**をご使用ください。

PBS-90を使用される場合には、上記手順でイグニッションキーをON/OFFするかわりにPBS-90のボタンを押します。



## 機能選択項目説明

### インテリジェントIGプロテクト(エンジンスタート対応)

「プロテクト」を選択した場合、警戒中にイグニッションONにすると異常発報します。「エンスタ」を選択した場合、イグニッションON中はドア開け検知以外では異常発報しないためエンジンスタート/ターボタイマーとの併用が可能です。

※インテリジェントIGプロテクト(IIP)機能はエンスタモード選択中でも、警戒中にドア開け信号を検知し異常発報すると、その後再度セットされるまで、イグニッションONで異常発報し乗逃げをガードします。

### リモートスタート中確認動作(エンスタ連動ライト)

「ON」を選択した場合、警戒状態でイグニッションON中はハザードランプが点灯し続けます。※この機能はエンジンスタート「対応」設定されている場合に有効です。

### オートアーム

「ON」を選択した場合、イグニッションOFF後最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると、自動的にシステムをセットします。(ドアロックは行いません。)

### オートリアーム

「ON」を選択した場合、システムを解除した後60秒以内にドアが開けられるか、イグニッションキーがONされない場合には自動的に再セットします。

※結線の方法によっては、ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できない場合があります。

### イクステリアイルミネーション(解除点灯機能)

「ON」を選択した場合、解除時のハザード点滅(3回)後ハザードランプが点灯します。点灯は30秒経過するか、ドアが開くか、IGがONになるまでつづきます。夜間の駐車場でお車を見つけやすくします。

※ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できません。



#### ヒント

※異常発報とはシステムが異常を検知し、サイレン鳴動やハザードフラッシュを行う事です。システムが通常セットされている場合には30秒間のサイレン鳴動と、ハザードフラッシュを行います。サイレントモードでのセット時にはハザードフラッシュのみとなります。

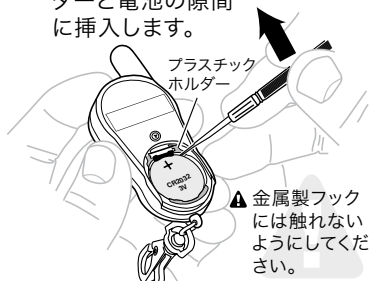
# リモコン電池の交換方法

## 電池の取り外し方

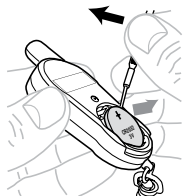
- ①** 電池蓋を図のように▽部分を押しながらスライドします。



- ②** マイナス精密ドライバーを金属製フックわきのプラスチックホルダーと電池の隙間に挿入します。



- ③** ドライバーを矢印の方向へ動かして行くと電池がポップアップします。勢良く飛び出す場合があるので注意してください。

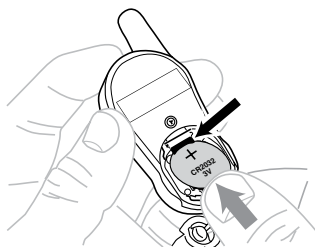


## 電池の入れ方

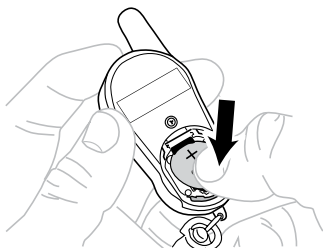
- ①** 電池型式:CR2032



- ②** まず図のように金属製フック側に電池をさし込みます。

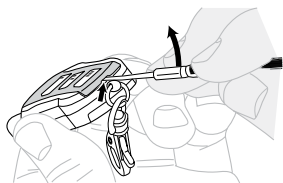


- ③** 次にプラスチックホルダー側に電池を押しつけるようにして電池をはめ込みます。



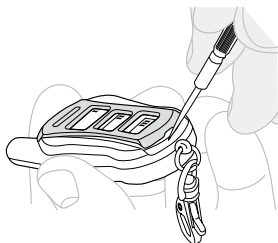
## きせかえシート(別売)の装着方法

- ①** ドライバーを図のようにフェイスプレート最下端のくぼみとリモコン本体との隙間に挿入します。



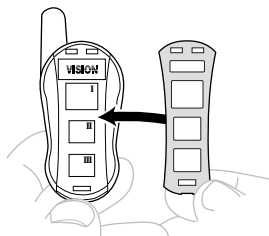
**⚠** プラスチックに傷を付けないよう十分に注意してください。

- ②** ドライバーを上を持ち上げるようにします。

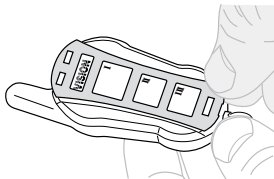


**⚠** ドライバーの先を上にはね上げないでください。フェイスプレート破損の原因となります。

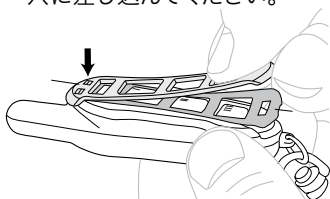
- ③** フェイスプレートがはずれたら、好みのきせかえシートを図の位置に貼付けます。



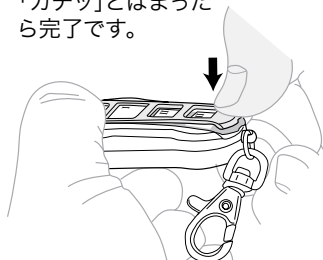
- ④** きせかえシートにあいているフェイスプレートのツメ穴やボタン穴がリモコン本体と合うようにはりつけてください。



- ⑤** きせかえシートをはりつけたら次にフェイスプレートをかぶせます。フェイスプレートは必ず図のように上部の2つのツメから取付穴に差し込んでください。



- ⑥** 最後にフェイスプレート下端をリモコン本体のツメ穴に上から押し込むようにします。「カチッ」とはまったら完了です。



## 取扱に関するQ&A

### Q1:車を点検に出したらリモコンが効かなくなった!

- A1: 車両点検作業の際にバッテリーをはずす等して電源ラインにノイズが発生すると、まれにリモコンのメモリーが消えてしまうことがあります。バッテリーをはずす前に、必ず本体のメインカプラーを抜いてから作業を行ってください。  
☞システムセット中に効かなくなった場合には、緊急解除コードを使用してセキュリティを解除します。すぐに続けてリモコン登録モードに入り、リモコンの再登録を行ってください。(本説明書26頁リモコン登録方法を参照)

### Q2:出先でリモコンを紛失してしまった!

- A2: 緊急解除コードを使用して解除することができます。解除方法は本説明書9ページの「緊急(緊急リセットコードによる)解除」を参照してください。

### Q3:リモコンの電池が切れてしまった!

- A3: 本製品のTX-36リモコンには市販のCR2032ボタン電池を使用しています。お近くのコンビニエンスストアやホームセンター等でお買い求めください。

### Q4:システムはセットされているのに何も反応しない!

- A4: システムセットの際にリモコンボタンCH2を使用していませんか?  
**II** を使用するとサイレントモードでセットされるため取付内容によっては何も反応していないように感じる場合があります。(6頁「サイレントモードのセット」をご参照ください。)

### Q5:リモコンの反応が悪い、効かない時がある!

- A5: ① ボタンはしっかり押してください。ただし、長く押しすぎるとパニックモードになりサイレンが鳴り出しますので注意が必要です。  
② 電池残量が少なくなる、または温度が極端に低い場合、インジケーターが瞬きし、操作距離が短くなります。  
③ 電池ホルダーが変形すると、接触不良により正常に動作しなくなることがあります。